

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
 【**単独**・連携事業】

市町名	足利市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	足利サイクルツーリズム事業	総事業費	0	1,946,070	2,000,000	2,000,000	2,000,000	7,946,070
		うち市町支出額	0	1,886,568	2,000,000	2,000,000	2,000,000	7,886,568
		うち県交付金	0	943,284	1,000,000	1,000,000	0	2,943,284
2	関係人口創出事業	総事業費	600,000	1,026,488	1,300,000	1,400,000	1,000,000	5,326,488
		うち市町支出額	600,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,600,000
		うち県交付金	0	500,000	500,000	500,000	0	1,500,000
3	足利灯り物語創出事業	総事業費	5,115,534	10,432,713	4,650,000	4,650,000	4,650,000	29,498,247
		うち市町支出額	4,650,000	4,650,000	4,650,000	4,650,000	4,650,000	23,250,000
		うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	0	0	3,000,000
4	あしかが美食まつり	総事業費	1,358,586	1,310,772	1,550,000	1,150,000	1,150,000	6,519,358
		うち市町支出額	800,000	800,000	800,000	400,000	400,000	3,200,000
		うち県交付金	400,000	400,000	400,000	0	0	1,200,000
5	着物・甲冑によるまち歩き推進事業	総事業費	383,012	450,638	450,000	200,000	200,000	1,683,650
		うち市町支出額	360,000	450,000	450,000	200,000	200,000	1,660,000
		うち県交付金	180,000	225,000	225,000	0	0	630,000
6	歩くまち空間創出事業	総事業費	1,348,217	1,514,831	1,600,000	1,600,000	1,000,000	7,063,048
		うち市町支出額	1,348,217	960,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,308,217
		うち県交付金	0	480,000	500,000	500,000	0	1,480,000
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	8,805,349	16,681,512	11,550,000	11,000,000	10,000,000	58,036,861
		うち市町支出額	7,758,217	9,746,568	9,900,000	9,250,000	9,250,000	45,904,785
		うち県交付金	2,080,000	4,048,284	2,625,000	2,000,000	0	10,753,284

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	足利サイクルツーリズム事業
事業主体の名称	足利サイクルツーリズム実行委員会
代表者の名称	委員長 藤本 昇
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町三丁目6-4
事業主体の概要	<p>・団体の目的:市内北部地域の豊かな自然・適度な勾配の山道や、渡良瀬川堤防沿いのサイクリングルートなど、サイクリストにとって魅力的な地域資源を活用し、来訪者の増加と地域活性化に寄与する取り組みを行う。</p> <p>・設立年月日:令和4年4月19日</p> <p>・構成員等:観光及び農商工関係団体、自転車愛好家グループなど</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	第8次総合計画の分野別計画において、「マイクローツーリズムの促進」「観光情報の効果的な発信」「地域資源を活用した地域活性化と持続可能なまちづくり」等を掲げている。本市にはすでに、市内北部の山道や渡良瀬川堤防沿いのサイクリングルートを楽しむサイクリストが訪れているが、その多くは訪れるだけで帰ってしまう状況であり、市内の店舗等への立ち寄りはありません。サイクリストを受け入れる機運の醸成を図るための取り組みが乏しく、ルートの案内や立ち寄る店舗等の情報発信も限定的なものとなっていた。
事業目的	市内北部地域の豊かな自然・適度な勾配の山道や、市内中心部を通る渡良瀬川堤防沿いのサイクリングルートなど、ヒルクライマーと呼ばれる山道を楽しむ人などを含めた「サイクリスト」にとって魅力的な地域資源を活用し、サイクリストが訪れやすい環境整備を進め、既存の観光資源との相乗効果により、来訪者の増加と地域活性化に寄与する取り組みを行う。
事業概要	<p>内容:</p> <p>①受入環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サイクルラック作成及び配置・・・ロードバイクを駐輪できるサイクルラックを作成し、協力店舗等に20基配置。 ○コースの誘導看板作成及び設置・・・市内に複数ある山道の起点や終点等に、距離等を表示した誘導案内表示板及び注意喚起表示板を19か所に設置。 ○店舗等サイン作成及び設置・・・本事業の協力店舗等であることを示すサイン(垂れ幕)をサイクルラック協力店全てに設置。 ○空気入れや修理キットの配置・・・自転車のトラブル時の応急対応ができるよう、サイクルラック協力店に空気入れを設置。 ○ロゴデザイン・ステッカーの作成・・・本事業をPRする上でのロゴマークを作成し、店舗サインに活用するほかサイクルラック・空気入れにシールを貼付。 <p>②魅力的な情報の発信・拡散</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アートデザインを施した表示・・・足利市北郷公民館倉庫にSNS映えするアートデザインを作成し、サイクリストによる情報拡散を促進。 ○市ホームページやSNSを利用した情報の発信・・・市HP及び足利サイクルツーリズム実行委員会のInstagramでの随時発信。 <p>③キックオフイベント(Vélo.Ashikagaサイクルフェスタ)の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宇都宮ブリッツェンの協力を得て初級者から中級者まで幅広く楽しめるサイクルイベントを実施し、本事業の開始を市内外へPR。 日時:11月27日(日)10時~14時 場所:エコアールグリーンプラザ(渡良瀬グリーンプラザ)足利市岩井町465-1 コース:①北部中山間地域コース(Vélo.Satoyama)(定員:50名)【申込者:64名 参加者:45名】 <ul style="list-style-type: none"> ・市北部のキャンプ地を目指す往復約30kmの初級者から中級者向けのコース。 ・キャンプ場では川魚の塩焼きを提供するほか、自然を満喫していただく。復路では足跡足利学校で記念撮影を行う。 ・宇都宮ブリッツェン選手を含むガイドライダーが常同。 ②渡良瀬川サイクリングコース(Vélo.Watarase)(定員:20組(40名))【申込者:42名 参加者:33名】 <ul style="list-style-type: none"> ・親子を対象とした渡良瀬川沿いを走行する約10kmのサイクリングコース。 ・ゲストライダーとして、ブリッツェンラヴァースも参加。 <p>①・②・③のほか、本実行委員会の取り組みに資する事業の研究及び実施を検討。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R7年度目標値)</p> <p>【KPI】R2:300万人 → R7:550万人</p> <p>【KPI達成状況】H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人、R2:300万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①受入環境の整備 ②魅力的な情報の発信・拡散 ③イベントの開催	①受入環境の整備 ②魅力的な情報の発信・拡散 ③イベントの開催	①受入環境の整備 ②魅力的な情報の発信・拡散 ③イベントの開催		①受入環境の整備 ②魅力的な情報の発信・拡散 ③イベントの開催
事業費	1,946,070	2,000,000	2,000,000	5,946,070	2,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,886,568	2,000,000	2,000,000	5,886,568	1,000,000
うち県交付金	943,284	1,000,000	1,000,000	2,943,284	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	59,502	0	0	59,502	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	松村 智也
電話	0284-20-2360
FAX	0284-21-1384
E-mail	sougou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利サイクルツーリズム事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市交付金	1,886,568	
イベント参加料	59,500	・1,000円×50名(北部中山間地域コース) ・250円×38名(渡良瀬川サイクリングコース)
利子	2	銀行利子
計	1,946,070	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市交付金	県交付金		
報償費	110,000	110,000	55,000	0	・ガイドライダー謝礼(51,000円) ・アートデザイン作成依頼(50,000円) ・看護師謝礼(9,000円)
消耗品費	197,605	197,605	98,802	0	・塗料(38,720円) ・ヘルメット代(8,030円) ・作業用手袋ほか(4,610円) ・リストバンド、キャプテンマーク代(11,779円) ・カラー針金代(表示板固定用)(2,160円) ・ポリエチレン手袋代ほか(16,568円) ・サインペン代(478円) ・補助金具代(サイクルラック補強用)(12,900円) ・空気入れ代(102,360円)
食糧費	61,131	2,629	1,314	58,502	・キックオフイベントの提供分 (魚の塩焼き39,800円・バナナ5,901円) ・ゲスト食事代(15,430円)
手数料	57,860	57,860	28,930	0	・スポーツエントリー手数料(51,150円) ・振込手数料(6,600円) ・硬貨手数料(110円)
保険料	16,060	16,060	8,030	0	・傷害保険料(キックオフイベント)
委託料	1,497,614	1,497,614	748,807	0	・倉庫塗装代(16,500円) ・ロゴデザイン制作代(97,900円) ・サイクル垂れ幕作成代(225,500円) ・ステッカー制作代(54,600円) ・スタッフ用ビブス作成代(105,100円) ・缶バッジ制作代(27,500円) ・誘導案内表示板、注意喚起表示板作成代(141,900円) ・サイクルラック作成代(374,000円) ・サイクルイベント委託料(407,000円) ・アートデザイン塗装代(47,614円)
使用料	4,800	4,800	2,400	0	・レンタサイクル代
返還金	1,000			1,000	・参加者への返還金 (ガイドライダーとの重複)
計	1,946,070	1,886,568	943,283	59,502	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	関係人口創出事業
事業主体の名称	ARTあしかが実行委員会
代表者の名称	委員長 栗田俊英
事業主体の所在	足利市本城3丁目2145
事業主体の概要	<p>・団体の目的: アートを通して本市の魅力を感じてもらおうとともに、関係者と連携を図ることで、関係人口の創出、観光誘客及び商業振興もつなげる</p> <p>・設立年月日: 平成29年11月8日</p> <p>・構成員等: 市内の美術館又はギャラリーの責任者、市内で作品展示を行うアーティスト又は団体の責任者など</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	本市では第8次総合計画の戦略プロジェクトに「選ばれるまち魅力創出プロジェクト」を掲げ、歴史・文化・自然・風土などの豊かな地域資源を磨き上げ、まちの魅力をさらに高め、地域のおもてなしと地域の特性を活かしながら賑わい創出と魅力あるまちづくりに取り組んでいる。具体的には本市にある寺社仏閣、古民家などを活用し、本市の文化を後世へ残そうと活動する団体や作家なども多くいるものの、それぞれの団体などの活動が連携できていない課題がある。こういった流れを本市の魅力として発信していくには更なる連携が課題である。
事業目的	本市で活動する団体や作家、そして美術関係者と連携を図り、本市の強みである文化と歴史を魅力として感じてもらうことで、本市への関係人口の増加を図り、まちの賑わい創出を目指すものとする。
事業概要	<p>関係人口の分類【a 直接寄与型】</p> <p>① 滞在制作の受入 市内に滞在し、アート制作をおこなう作家に対する受け入れ支援を行った。 タイトル: ヤギPoo陶芸プロジェクトin足利「ヤギのニーとメエメ陶芸」 滞在作家: 鈴木希果 1998年東京都生まれ。多摩美術大学工芸学科陶芸選考卒業。東京藝術大学美術研究所グローバルアートプラクティス専攻在学中 プロジェクト: 参加者がヤギPoo(フーン)やヤギが住む土地の土で器を作り生活に取り入れる。その流れを経験する体験型アートプロジェクト。 滞在期間: 延べ10日間(宿泊: ゲストハウスわ家) エ 程: 9/14, 9/30 現地リサーチ、ワークショップ会場の準備等 10/1 ワークショップ開催(ココ・ファーム・ワイナリー) 参加者10名 10/13 素焼き、10/14 素焼き窯出し 10/15 野焼き体験会 参加者: 18名、10/16 野焼き窯出し体験会 参加者: 13名</p> <p>② 展覧会「あしかがアートクロス」の企画立案と開催に向けた準備 市立美術館や市内ギャラリー、市内で作品展示を行いたいという意向のある作家や団体などと連携し「あしかがアートクロス」の開催に向け実行委員会メンバーで企画内容を次の通り決定し、ポスター等による周知を行った。 タイトル: アシカガアートクロス2023 会 期: 令和5年5月13日(土)～令和5年5月28日(月) 開催時間: 10時～18時 会 場: 大久保分校スタートアップミュージアム、旧木村浅七邸、旧木村輸出織物工場、山川長林寺庭園 参加作家: 秋山佳奈子、金子未弥、林朝子、連水一樹、やあべそい</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>第8次足利市総合計画 重点プログラム 選ばれるまち 魅力創出プロジェクト ○移住・定住の促進と関係人口の創出 【目標】相談事業を経た年間移住者数(R7年度目標値) 【KPI】R2:41人 → R7:66人 【KPI達成状況】R1:31人、R2:41人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	アート展の開催 ①滞在制作の受入 ②展覧会の企画立案 開催に向けた準備	アート展の開催 ①企画展の計画 ②イベントの広告宣伝 ③イベントの開催	アート展の開催 ①企画展の計画 ②イベントの広告宣伝 ③イベントの開催		アート展の開催 ①企画展の計画 ②イベントの広告宣伝 ③イベントの開催
事業費	1,026,488	1,300,000	1,400,000	3,726,488	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	26,488	300,000	400,000	726,488	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	地域創生課
担当者名	菊地 陽向子
電話	0284-20-2261
連絡先 FAX	0284-21-1384
E-mail	machi@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	関係人口創出事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
交付金	1,000,000	
自主財源	26,488	
計	1,026,488	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	420,000	420,000	210,000	0	作家への謝礼など
消耗品費	19,290	10,000	5,000	9,290	会場案内看板など
通信運搬費	12,635	0		12,635	
使用料及び賃借料	70,000	70,000	35,000	0	ワークショップ会場使用料
委託費	501,593	500,000	250,000	1,593	ポスター、フライヤーなど
手数料	2,970	0		2,970	
計	1,026,488	1,000,000	500,000	26,488	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	足利灯り物語創出事業
事業主体の名称	足利灯りのある街づくり実行委員会
代表者の名称	委員長 早川 慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町三丁目6-4
事業主体の概要	・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成29年1月24日 ・構成員等: 観光及び商工振興関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	足利市内には鑊阿寺・史跡足利学校・足利織姫神社などの魅力的な観光資源があるものの、首都圏からも近くアクセスしやすいため、日帰りの観光客が多く、宿泊や飲食が伴っていないのが現状である。市内には、「あしかがフラワーパーク」のイルミネーションや足利織姫神社の夜景など夜景観光資源も多く、さらに中心市街地にある既存の歴史的な文化財をライトアップし活用することによる既存の夜景観光資源との連携強化及び滞在型観光や近隣市町村からの交流人口増加が課題である。
事業目的	足利市が誇る歴史遺産や町並みなどを夕暮れ後に活用し、日中とは趣の異なる幻想的な空間に磨き上げることで、市民や国内外からの観光客に楽しんでいただける夜景を提供する。 また、あしかがフラワーパークと連携してこの取り組みを行うことで、同園の持つ日本一のイルミネーションとの相乗効果を生み出し、「灯りと光のあるまち」としてのイメージを定着させ、夜にも魅力的な景色・空間のあるまちとして更なる誘客につなげるとともに、夜間の滞在に伴う宿泊や飲食などの消費行動を喚起し、市内経済の活性化を図る。
事業概要	集客イベント実施の場合は【 】内に関係人口の分類を記載 【1-a】 【令和4年度】 足利灯りのある街づくりプロジェクトとして、灯りのイベントを集約し、灯りと足利市の地域資源である文化財や街並みを楽しめる、足利ならではのイベントを企画し実施した。県内・両毛地域・東武鉄道伊勢崎線沿線など近隣へのPRを重点的にを行い、近隣市町村からの人の流れを創出した。 (1) 秋の足利灯り物語の開催 【内容】鑊阿寺の本堂や大銀杏、足利学校の大成殿や北庭園などをライトアップしたほか、参道や足利織姫神社の階段に銘仙行灯を設置した。イルミネーション日本一を誇るあしかがフラワーパークと連携することで、情報発信力の強化を図り、夜景をキーワードとした市内周遊を活性化させた。 (2) 夜景観光団体等との連携 日本百名月へ参画し、夜景観光に取り組む都市等との交流を通じ、先進的な事例などのノウハウを学ぶことで今後の展開に活かした。 【令和5(2023)年度以降】 継続的な実施により、夜景観光のまちとしてのイメージを定着させ、滞在時間延伸に伴う宿泊や飲食等の消費行動を喚起し、市内経済の活性化を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】観光入込客数(R7年度目標値) 【KPI】R2:300万人 → R7:550万人 【KPI達成状況】H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人、R2:300万人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	3年度	4年度	5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	足利灯りのある街づくりイベント実施 (1) 四季を通じた夜景観光の創出 ① 春・秋(足利灯り物語) ② 夏(足利夏まつり) ③ 冬(足利冬物語) (2) 夜型イベントとの連携 (3) 夜景観光団体等との連携	足利灯りのある街づくりイベント実施 (1) 秋の足利灯り物語の開催 (2) 夜型イベントとの連携 (3) 夜景観光団体等との連携	足利灯りのある街づくりイベント実施 (1) 秋の足利灯り物語の開催 (2) 夜型イベントとの連携 (3) 夜景観光団体等との連携		足利灯りのある街づくりイベント実施 (1) 秋の足利灯り物語の開催 (2) 夜型イベントとの連携 (3) 夜景観光団体等との連携
事業費	5,115,534	10,432,713	4,650,000	20,198,247	
市町支出金(ソフト事業分)	4,650,000	4,650,000	4,650,000	13,950,000	
うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	465,534	5,782,713	0	6,248,247	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光まちづくり課
担当者名	小暮 勇氣
電話	0284-20-2165
FAX	0284-20-2207
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利灯り物語創出事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	4,650,000	
自己資金	359,123	
雑収入	5,423,590	ライトアップ商品券取扱い店舗協賛金、史跡足利学校ライトアップ入場料、預金利息など
計	10,432,713	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	12,070	0	0	12,070	竹灯り展示視察時手土産代アンケート集計謝礼
旅費	0	0	0	0	
需用費・消耗品費	218,130	0	0	218,130	養生用ゴムシート、ゴムコードコネクタ付電源ケーブルなど
需用費・食糧費	626	0	0	626	実行委員会湯茶代
需用費・印刷製本費	314,525	0	0	314,525	ライトアップ商品券・取扱店マップ、特典付き入場券など
役務費・手数料	2,662,860	0	0	2,662,860	両替手数料、ライトアップ商品券精算
委託料	5,301,760	4,540,000	1,500,000	761,760	ライトアップ委託、灯り展示業務委託
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
負担金及び交付金	110,880	110,000	0	880	日本百名月負担金
積立金	1,750,000	0	0	1,750,000	ライトアップ機材購入積立金
次年度繰越金	61,862	0	0	61,862	
計	10,432,713	4,650,000	1,500,000	5,782,713	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	あしかが「美」食まつり
事業主体の名称	あしかが「美」食まつり実行委員会
代表者の名称	実行委員長 早川 慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市の農産物ブランドである「あしかが美人[®]」を使った新たな食のブランド化を図り、市民及び観光客が「あしかが美人[®]」の魅力を知る機会を創出することで、地産地消の推進と観光誘客の促進を図り、地域活性化につなげる。 ・設立年月日: 平成29(2017)年9月1日 ・構成員等: 足利市、足利市農業協同組合、足利商工会議所、足利市坂西商工会、足利市観光協会
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市は、「史跡 足利学校」や「国宝 鍬阿寺」をはじめ、歴史的な観光資源が中心市街地に集中しており、そうした中心市街地に多くの観光客が訪れる一方で、足利市全体の地域活性化及びにぎわい創出のために観光客を中心市街地から市内全域へ周遊させる仕掛けが機能していない現状である。 ・「観光振興」とご当地での「食」が密接に関わる中、観光資源としての「あしかが美人[®]」のPR強化が課題であり、「あしかが美人[®]」と地域との結びつき、観光客への周知を推進する仕組みづくりをする必要がある。 ・足利市を訪れる観光客の多くは日帰り客中心であり、観光消費額より大きい宿泊客誘致及び消費機会の創出に向けた取組が課題である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民及び観光客に対して、農産物ブランド「あしかが美人[®]」(トマト、いちご、アスパラガス、にんじん、きゅうり、ナス、大根)を食材として使用したメニューを市内店舗や宿泊施設等で提供することで、当市の地産地消推進と観光誘客及び市内回遊の促進を図るとともに、地域活性化につなげる。 ・昨年引き続き、「あしかが美人[®]」を使用したメニューを提供することで、市民や観光客に対して、本市ならではの食のブランドとしてメニューの定着を図ること。
事業概要	<p>【令和4(2022)年度】</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ野菜(食材)を決定。 ・飲食店及び宿泊施設を対象に参加店の募集 →各参加店にて特別メニューを考案 ・チラシ、ポスター、のぼり旗、ホームページにて広報 →「あしかが美人[®]」生産者や参加店へのインタビュー記事など、ストーリー性を持つ広告宣伝を実施 ・あしかが「美」食まつり開催 →期間限定で特別メニューの提供開始。期間中も各種媒体にて広報を実施。 ・スタンプラリー及びInstagramフォトコンテストを実施することで、お客様が店舗の訪問で終わらず、市内を回遊する流れを創出 ⇒中心市街地のみならず、市民及び観光客による市内全域でのにぎわいを創出 <p>【令和5(2023)年度以降】</p> <p>継続的な実施により、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R7年度目標値)</p> <p>【KPI】R2:300万人 → R7:550万人</p> <p>【KPI達成状況】H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人、R2:300万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	4年度	5年度	6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施	①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施	①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施		①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施
事業費	1,310,772	1,550,000	1,550,000	4,410,772	1,150,000
市町支出金(ソフト事業分)	800,000	800,000	800,000	2,400,000	400,000
うち県交付金	400,000	400,000	400,000	1,200,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	510,772	750,000	750,000	2,010,772	750,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光まちづくり課
担当者名	小野 麻衣
電話	0284-20-2165
連絡先 FAX	0284-20-2207
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	あしかが「美」食まつり	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	800,000	
足利商工会議所負担金	30,000	
足利坂西商工会負担金	20,000	
足利市農業協同組合	200,000	
協賛金	108,000	
繰越金	152,771	
受取利息	1	
計	1,310,772	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
印刷製本費	507,870	500,000	250,000	7,870	チラシ126,000枚、ポスター120枚、のぼり旗 25枚
委託料	312,950	0	0	312,950	ホームページ作成委託、インスタグラムフォトキャンペーン
広告費	357,940	300,000	150,000	57,940	新聞折込広告代
通信運搬費	13,018	0	0	13,018	出展者募集通知、チラシ発送等
消耗品費	0	0	0	0	
繰越金	118,994			118,994	
計	1,310,772	800,000	400,000	510,772	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	着物・甲冑によるまち歩き推進事業
事業主体の名称	一般社団法人 足利市観光協会
代表者の名称	代表理事 早川 慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成26年10月1日 ・構成員等: 観光振興関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の近代化産業である織物産業の原点ともいえる足利銘仙は、大正から昭和にかけて全国的に普及した足利を代表する歴史資源であり、現存する足利銘仙の着物や生地を活用することにより、足利の誇る伝統文化を未来に向けて継承していく方策を検討する必要がある。 ・現在は、足利まちなか遊学館において着物着付体験の実施や展示をしている。観光客に足利銘仙をPRすることで、足利市の観光資源である足利銘仙を知ってもらい、現存する足利銘仙を着付体験を通して活かしていく。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・着物着付体験の環境を整備していくことで、さらに体験者を増加させ、足利の街並みの魅力を向上させる。 ・館内に足利銘仙の着物や関連の資料を展示し、観光客に足利銘仙の魅力や特色を伝えていくことで、「足利銘仙ファン」の獲得を目指す。「足利銘仙ファン」の方々がリピーターとして本市を訪れていただくとともに、足利銘仙の魅力・特色について発信していただくことで、他の銘仙産地(埼玉県・秩父銘仙、群馬県・伊勢崎銘仙)とは異なる「足利銘仙の楽しみ方」を広く知っていただくことにつなげる。 ・甲冑体験の備品を整備することで、幅広い年代の方が男女問わず体験できるようになり、本市が室町幕府を興した足利氏のふるさとであることを知っていただくことにつなげる。
事業概要	<p>【令和4(2022)年度】</p> <p>①着物着付体験の環境整備 内容: 着物着付体験にて使用する着物、ポリエステル着物、浴衣、下駄などの備品を購入した。甲冑は現在成年男女向けの備品のみであるため、幼年も体験できるように上衣・下衣等を購入した。また、対外的なPRのためのオリジナルノベルティを作成した。</p> <p>②着物・甲冑着付体験 内容: 年間を通した体験に加え、料金割引や特典付きのキャンペーンを実施した。 ア) 足利花火大会特別企画 令和4年8月6日(土) 足利花火大会時に浴衣の一泊レンタルを実施した。 体験者: 25人</p> <p>③銘仙の展示 内容: まちなか遊学館内に写真スポットを作り、お客様の写真を撮影し、館内に展示した。</p> <p>【令和5(2023)年度以降】 前年度同様に着付体験環境の整備や着付体験の実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R7年度目標値)</p> <p>【KPI】R2:300万人 → R7:550万人</p> <p>【KPI達成状況】H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人、R2:300万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	3年度	4年度	5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①着物着付体験の環境整備(着物購入) ②着物・甲冑着付体験 ③館内に着物展示 ④広告宣伝用の写真撮影	①着物着付体験の環境整備 ②着物・甲冑着付体験	①着物着付体験の環境整備 ②着物・甲冑着付体験		①着物着付体験の環境整備 ②着物・甲冑着付体験
事業費	383,012	450,638	450,000	1,283,650	200,000
市町支出金(ソフト事業分)	360,000	450,000	450,000	1,260,000	200,000
うち県交付金	180,000	225,000	225,000	630,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	23,012	638	0	23,650	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光まちづくり課
担当者名	武井 実里
電話	0284-20-2264
FAX	0284-20-2207
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	着物・甲冑によるまち歩き推進事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	450,000	
(一社)足利市観光協会支出金	638	
計	450,638	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
需用費	338,298	338,000	169,000	298	着物、甲冑上衣、男浴衣、下駄ほか
修繕費	0	0		0	
広告宣伝費	112,340	112,000	56,000	340	チェキフィルム購入、ノベルティ製作
計	450,638	450,000	225,000	638	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	歩くまち空間創出事業
事業主体の名称	門前マルシェ実行委員会
代表者の名称	委員長 藤本 昇
事業主体の所在	〒326-8601 足利市本城3丁目2145(足利市観光まちづくり課内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:史跡足利学校の門前において実施する「門前マルシェ」を企画・運営し、地域の発展及び活性化に寄与すること</p> <p>・設立年月日:平成30年4月2日</p> <p>・構成員等:(一社)足利市観光協会、足利市、市内事業者等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>足利市は、史跡足利学校・鏝阿寺などの文化遺産が中心市街地にまとっており、近隣市にはない特色と地理的優位性がある。しかし、中心市街地は空洞化が進んでおり、賑わいの再生や交流人口の増加による経済活性化が課題である。その地域性を生かして、市民がいつまでも安心安全で豊かに生活できるような、食事や買い物、体験を歩いて楽しめる空間を創出し、持続可能な都市を目指していく。</p>
事業目的	<p>足利市を代表する文化遺産「史跡足利学校」を核として、足利学校の門前通りにて、世界中の道具や日用品、食を紹介し、衣食住を豊かにしていくヒントとなる物や情報を集めたマルシェを開催することで、市民をはじめとする来場者へ生活を豊かにする知恵を提供することができ、持続可能なまちづくりにつなげる。また、来場者が歩いて会場周辺の文化遺産や商店を回遊することで、まちの賑わいが生まれ、さらに経済効果に寄与することができる。</p>
事業概要	<p>集客イベント実施の場合は【 】内に関係人口の分類を記載【1-a】</p> <p>史跡足利学校を核として、「門前マルシェ」を開催し、お客様が石畳通りに並ぶ商店を含めて回遊できる仕組み作り、歩いて楽しめる空間を創出した。県内・両毛地域・北関東など近隣へのPRを重点的に行い、近隣市町村からの関係人口を増加させた。</p> <p>(1) 門前マルシェの開催</p> <p>①令和4(2022)年10月2日(日)11時～16時 来場者数 6,700人 内容:3年ぶりに例年の会場である史跡足利学校の門前の学校様通りを歩行者天国とし開催した。さらに文化財を活用するため、初めて史跡足利学校内に雑貨店3店を出店した。</p> <p>②令和5(2023)年3月12日(日)11時～16時 来場者数 8,700人 内容:史跡足利学校の門前の歩行者天国に加え、10月同様史跡足利学校内に新店し文化観光の推進を遂行した。また、地元高校生のアイデアを活用し、オリジナルのタープ TENT を制作した。</p> <p>(2) アドバイザーの招聘 内容:本事業を遂行していくため、首都圏から本市へ移住した街中回遊イベント業務の専門家である塩見和彦氏をアドバイザーとして招聘し、歩いて楽しめるまちづくりのノウハウを取得した。</p> <p>【令和5(2023)年度以降】 前年度同様に門前マルシェを実施し、歩いて足利を回遊できる仕組みを継続して作っていく。広く出店が可能となるよう、出店者を公募制にするなど、検討していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R7年度目標値)</p> <p>【KPI】R2:300万人 → R7:550万人</p> <p>【KPI達成状況】H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人、R2:300万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	4年度	5年度	6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	(1)門前マルシェの開催 (2)アドバイザーの招聘	(1)門前マルシェの開催 (2)アドバイザーの招聘	(1)門前マルシェの開催 (2)アドバイザーの招聘		(1)門前マルシェの開催 (2)アドバイザーの招聘
事業費	1,514,831	1,600,000	1,600,000	4,714,831	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	960,000	1,000,000	1,000,000	2,960,000	1,000,000
うち県交付金	480,000	500,000	500,000	1,480,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	554,831	600,000	600,000	1,754,831	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光まちづくり課文化観光政策担当
担当者名	武井 実里
電話	0284-20-2264
FAX	0284-20-2207
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歩くまち空間創出事業	
対象年度	4	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
支出金	960,000	
出店者負担金	330,000	
前年度繰越金	190,803	
諸収入	34,028	
計	1,514,831	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
広報宣伝費	100,380	100,000	50,000	380	チラシ、ポスター制作
賃借料	74,604	32,000	16,000	42,604	会場、テント、テント用ウェット ほか
保険料	16,900	8,000	4,000	8,900	賠償責任保険
委託料	780,000	780,000	390,000	0	アドバイザー業務委託、ホームページ等管理
報償費	45,000	10,000	5,000	35,000	イベント出演者謝礼
消耗品費	344,791	30,000	15,000	314,791	新型コロナウイルス感染症対策消毒液 ほか
通信運搬費	25,713	0	0	25,713	チラシ、ポスター郵送
旅費	3,080	0	0	3,080	先進地視察
次年度繰越金	124,363	0	0	124,363	
計	1,514,831	960,000	480,000	430,468	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合